

みずほCustomer Desk Report 2024/03/08号 (As of 2024/03/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	149.03
TKY 9:00AM	149.26	1.0901	162.54	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	149.36	1.0949	162.73	1.2736	0.6567
SYD-NY Low	147.59	1.0868	160.55	1.2811	0.6624
NY 5:00 PM	148.06	1.0949	162.04	1.2724	0.6561
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,791.35	130.30	日本2年債	0.1900%	0.0100%
NASDAQ	16,273.38	241.83	日本10年債	0.7300%	0.0200%
S&P	5,157.36	52.60	米国2年債	4.5024%	▲0.0575%
日経平均	39,598.71	▲492.07	米国5年債	4.0740%	▲0.0454%
TOPIX	2,718.54	▲12.13	米国10年債	4.0866%	▲0.0203%
ソコ日経先物	39,755.00	▲580.00	独10年債	2.2935%	▲0.0365%
ロンドンFT	7,692.46	13.15	英10年債	3.9910%	0.0035%
DAX	17,842.85	126.14	豪10年債	4.0310%	▲0.0060%
ハンセン指数	16,229.78	▲208.31	USDJPY 1M Vol	8.85%	0.47%
上海総合	3,027.40	▲12.53	USDJPY 3M Vol	8.65%	0.44%
NY金	2,165.20	7.00	USDJPY 6M Vol	8.67%	0.23%
WTI	78.93	▲0.20	USDJPY 1M 25RR	▲1.94%	Yen Call Over
CRB指数	279.09	0.97	EURJPY 3M Vol	7.98%	0.24%
ドルインデックス	102.82	▲0.55	EURJPY 6M Vol	8.27%	0.15%

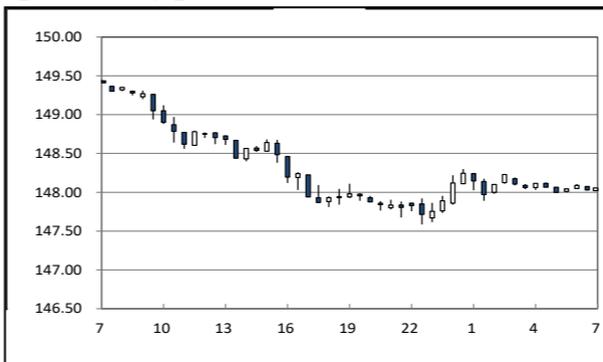
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月7日	09:30	豪 貿易収支	1月 A\$11027m	A\$11500m
	16:00	独 製造業受注(前月比)	1月 -11.3%	-6.0%
	22:15	欧 ECB主要政策金利/預金ファシリティ・レート	7-Mar 4.5%/4.0%	4.5%/4.0%
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$67.4b	-\$63.5b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	2-Mar 217k	216k
	22:45	欧 ECBラガルド総裁 講演	「賃金の伸びが緩やかに始めている兆しがある」	
3月8日	00:00	米パウエルFRB議長 講演	利下げ開始は遠くない時期に確信へ	
	01:30	米メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「経済が想定通りに推移すれば年内に利下げ可能」	

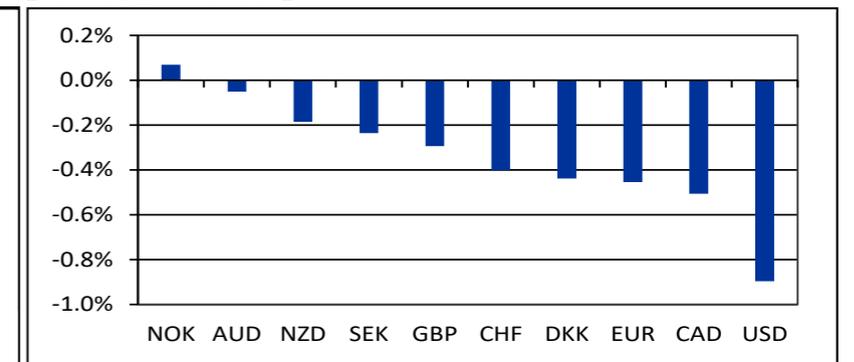
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月8日	14:00	日 景気一致指数・速報	1月 110.2	115.9
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 0.1%/-6.6%	-1.2%/-8.6%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	4Q F 0.0%/0.1%	0.0%/0.1%
	21:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 200k	353k
	22:30	米 失業率	2月 3.7%	3.7%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.2%/4.3%	0.6%/4.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.50	1.0850-1.1050	160.50-163.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は続落。東京時間の一部の政府関係者が日銀による政策修正を容認するとの報道や、中川日銀委員の物価安定目標実現についての前向きな発言を受け、ロンドン時間まで円買い優勢となり147円台まで下落。NY時間では朝方米失業保険の予想対比悪化を受け一時147.59まで売られる。その後は売りが一巡して感が出て148円丁度付近まで戻して推移しクローズ。本日のドル円は148円前半を上限とする軟調な展開を想定。現在市場は今年中に3.5回の米国政策金利利下げを織り込んでおり、前回DOTSの3回に概ね整合的。昨日パウエル議長の発言を踏まえても、仮に雇用統計が強かったとしても一気に年内2回利下げへ市場が傾くとは考えにくい。現在IMM円先物のショートが相応に溜まっており、FOMC・BOJ前にそのロール期限が控えている。ここ二日の急激な円高に伴い痛みが生じていることから円先物のショートカバーによる円高シナリオが考えられる。

東京	東京時間のドル円は149.26レベルでオープン。前日からの流れを引き継ぎ、オープン直後から軟調推移し、149円を割り込んだ。一部の政府関係者がマイナス金利解除を容認したとの報道や中川日銀審議委員の物価安定目標実現についての前向きな発言を受け、早期マイナス金利解除の思惑が拡大し、円買いの勢いは止まらず148.38まで下落。結局、148.49レベルで欧州時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.49レベルでオープン。海外時間の流れを継いで円買いが進み、ドル円は一時147.68まで売られる。その後、若干の反発を経て結局147.85レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0903レベルでオープン。午後にECB理事会発表を控え、方向感なく小幅推移。結局、1.0895レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。一部の政府関係者が日銀による政策修正を容認するとの報道や、中川日銀委員の物価目標を巡り「目標の実現に向けて着実に歩を進めている」との発言が伝わると、早期の金融政策修正が行われるとの思惑から終始円買いの流れとなり、147.85レベルでNYオープン。朝方に発表された米第4四半期の単位人件費が下方修正された事や、予想より悪化した米失業保険の結果が一段の重しとなり、147.59まで続落。その後は下げ渋り、148.20付近まで反発。続いてパウエルFRB議長が上院議会証言にて、「利下げ開始に必要な確信はそう遠くない」との認識を示し、発言直後は売りで反応するも、影響は限定的で、その後再び148.20付近まで戻す。午後は買い一巡となり、148円丁度付近まで反発。その後もほぼ横ばいで推移し、148.06レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。ECB理事会の結果待ち姿勢が広がり、1.09台丁度付近での小動きが続き、1.0895レベルでNYオープン。朝方に発表されたECB3月理事会は主要政策金利を現状の4.50%に据え置き、同時に発表された24年と25年度の物価見通しが下方修正する等の内容を受け、売りが先行し、1.0870付近まで下落。続いて行われたラガルドECB総裁の記者会見では、序盤は「賃金の伸びが緩やかに始めている兆しが出ている」等とハ派寄りのコメントが見られたものの、後半では「今回の理事会では利下げについて討議しなかった」等との発言が伝わると、一転買い戻しが優勢となり、その後は1.0940付近まで上伸。午後ユーロ高の流れが続き、終盤に掛けては1.0949まで値を上げ、そのままクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:岩下